

平成17年6月1日

「ロータリーの友」地区だより：「6月号」報告

今期、「中島ガバナー年度」最後の「友・地区だより報告」となりました。「友」誌内容も、さすがに締めくくりを感じる記事が多くみられます。それはそれなりに熟読されると味があり、ご一読をお勧めいたします。なお、各号要約報告は、来期も「ロータリーの友委員」と「広報・雑誌委員会」が協力して、各クラブにお送りするよう計画を練っている様子です。今期1年間、種々ご高配をたまわりましたこと、紙面をお借りして御礼申し上げます。

1. 是非ご一読頂きたい記事

「ヨコ組み」

8ページ RI会長メッセージ 「ロータリーはそこにある」
エステス会長夫妻は、会長年度の幕を閉じるにあたって、この1年は素晴らしいものだった述べられています。特に、全てのロータリアン共通の特質「なんととしても人々を助けたいと願う強い気持ち」に心を打たれたと記しておられます。

16ページ ロータリーの創始者 ポールP. ハリス
何百回となくお聞きしたお名前ですが、幼少期・来日時・お箸の食事と珍しい写真が載っています。来日の際月桂樹を植樹され、4世目の月桂樹まで育っていることは始めて知りました。

36ページ よねやまだより 2006年度からの新制度案
6月30日の会合に上程される「制度改編案」が紹介されています。1. 現地募集による奨学生の試行 2. 地区裁量枠の導入 と革新的で合理的な制度の提案のようです。

44ページ 地区のたより・東京RC 「カンボジアの地雷10年でゼロへ」
2580地区（東京都・沖縄県）が行なっている地雷除去活動の活動報告です。お聞き及びの方も多いと思いますが、なかなかスケールの大きい活動で、ご一読が望ましいと思います。

「タテ組み」

4 ページ 地区大会講演 「少子社会の人間学」 富岡 賢治 学長
「夫婦仲が悪いと子どもがキレル」と、聞き捨てならない憂うべき現在日本の子供の実情が述べられています。これからの青少年問題を考える上で、主要な課題ともいえましょう。

2 . 第 2 6 4 0 地区からの提供記事

「ヨコ組み」

4 0 ページ 地区大会略報 第 2 6 4 0 地区
1 月以降に行なわれた各地区大会の簡単な略報です。ここにも特記された通り、起伏の激しい 1 2 k m の熊野古道を岩井 R I 会長代理、中島ガバナー夫妻が堂々歩き通されたのは驚きです。

「タテ組み」

1 0 ページ 大阪金剛 R C 井出俊一氏「1 0 0 周年参加への期待と楽しみ」
G S E 団長として、ワシントン D C やメリーランド州で多くの方とお友達になり、世界中にも数知れぬ知己を持つ井出ご夫妻がハワイにもお友達を広げるエピソードです。楽しいお話です。

2 0 ページ 松原 R C 三宅小学校長 高坂俊造氏「子どもたちの背景には」
卓話で話された高坂校長先生の講演要旨です。上述の富岡先生のお話とダブリ、今後の青少年を育てる背景には、私達大人の生き方もまた改める必要性を痛感いたします。

2 3 ページ 堺 R C 近江百重女 氏 「俳壇」
堺フェニックス R C 田幡 茂美 氏 「柳壇」
大阪金剛 R C 井出 胡蝶 氏 「 〃 」

堺からは、近江・田幡両氏の入選です。毎回入選者輩出の堺ですが、今回は新しいお名前の登場で、多くの同好の士がおられるのがうかがわれます。

大阪金剛からは常連の井出氏の入選です。その頻度に驚きです。上述「ハワイへの楽しみ」の中の写真が実像とお見受けします。

以 上